

速報第2855号 H29.10.10発行 総務課 扱	道議会における質疑・質問及び答弁要旨	29年 文教委員会 10月5日	質 問 者	菊地 葉子 委員 日本共産党 (小樽市)
質 疑 ・ 質 問		答 弁		担 当 課
<p>一 北海道立学校条例の一部を改正する条例案について</p> <p>(一) 名称決定までの経過について          来年4月から小樽商業高校と小樽工業高校が統合され、教育内容の改善・充実を図った上で、未来を担う人材を育むための新たな学校として、私としてもスタートを切っていただきたいと考えているところですが、学校の象徴とも言うべき新たな校名がどのような経過で決定されたのかを伺います。とりわけ在校生にとっては、自分の通う高校の名称が途中で変わるわけですから、特段に丁寧な説明が必要だと思うわけですが、どのように対応されたのかを併せて伺います。</p> <p>(指 摘)          私の元には、在校生やその保護者から「工業高校として卒業しなかった」といった声が少なくなく寄せられています。私としても新しい高校としてスタートするのですから、名称変更はやむを得ないことなのかもしれませんけれども、とりわけ工業高校が就職するにしても、全国的にも一定の名前で結果につながっているという経過もありますから、今後、また高校配置で似たようなケースが出てこないとも限らないわけで、名称変更の手続きについては、今、答弁がありましたように、教育委員会としてはやることはやりましたということかもしれませんけれども、丁寧に合意形成を図っていくということについては、また別の様々なご意見を伺うという道もあるのではと思いますので、是非合意形成を図って頂くようお願いします。</p> <p>(二) 開設に向けた準備について          新しい高校の立ち上げに際しては、教育内容や必要な設備・施設等を検討し、どのような学校を作ろうとしているのかについて、入学希望者や保護者に対して説明、また周知する必要があると思います。</p> <p>1 入学希望者等への説明・周知について          今回小樽市内で新設される学校では、どのようなスケジュールで説明・周知されようとしているのかをお伺いしたいと思います。</p> <p>(指摘)          今、ホームページの充実を図るなどして、情報提供に努めていくという答弁をいただきました。つい2か月ほど前にホームページを見ても、ちょっとよく分からない、ほとんど情報が分からないというような声もいただきながら、教育委員会にお尋ねした経過もありますので、ぜひその辺は充実させていただきたいと思っています。</p>	<p>(学校教育局長)          名称決定までの経過についてであります。小樽商業高校と小樽工業高校の再編により設置をいたします新設校の校名案の決定にあたりましては、両校の校長や教職員で組織されました統合検討委員会が、昨年11月に、生徒や保護者のほか一般の方などを対象に公募を行った上で、選定した案を、本年7月に道教委に報告しております。道教委では、その報告を受け、本年8月に開催の教育委員会の会議において決定したところでございます。</p> <p>両校におきましては、公募の際には、生徒や保護者に対して、新しい学校が、多くの方に親しまれ、愛される学校となるよう、新しい校名を広く募集する旨を周知してきているものと承知をしているところでございます。</p> <p>(参事(改革推進))          入学希望者等への周知などについてであります。両校の再編に当たっては、統合検討委員会において、来年4月の開校に向け、具体的な学習内容などについて検討を進めております。</p> <p>こうした中、統合検討委員会が中心となり、本年6月と7月に、新設校に係る学校説明会において中学生やその保護者、中学校の教員などを対象に、小樽市の特色を生かした教育活動や各学科の学習内容について説明したほか、中学校の求めに応じて小樽市内などの9校を訪問し、取得可能な資格や卒業後の進路などについて説明を行ったところであります。</p> <p>今後は、中学3年生を対象とした新設校を想定した体験入学を実施する際に、改めて、新設校の教育内容などについて説明するとともに、新設校の校名などを記載した学校案内の作成やホームページの充実を図るなどして、積極的な情報提供に努めることとしております。</p>	<p>高校教育課</p> <p>新しい高校づくり推進室</p>		

質 疑 ・ 質 問	答 弁	担 当 課
<p>2 施設改修について 次にですね、商業と工業という専門学科同士の統合になるわけですね。 教育資材の購入設置やまた、男女比率も、商業高校はほとんど女子生徒が多かったものですから、男女比率も工業高校時代と変わってくると思います。 施設改修などが大幅に必要なようになってくると思いますが、どのように対応される予定なのか、お伺いしたいと思います。</p> <p>(指摘) 今、お尋ねしたんですけれども、来年4月から新しい高校としてスタートするわけですね。そして、30年度中の工事があるということなんです。学校の休みを利用した工事なのか、とお尋ねしたら、それでは間に合わないの、日常的な工事を行うと。統合を決めてからの、それから新学校スタートまでの3年間で、そういう風に間に合わないってことも、今後はきちんと考えた方が良くはないかというふうに私は思うんですね。 子どもさんたちの工事中の安全の問題もありますし、なにより、学校の皆さんと、当該学区の皆さんとしっかり協議しながら進めていっているということなんですけれども、そして一生懸命、頑張っておられるってことも、重々承知はしているんですが、進路決定を控えた子どもさんや保護者にですね、何より不安を与えることのないよう、そういう計画の中においても、今後、見直しを図られるべきではないかということと、やはり、きちんとした丁寧でわかりやすい説明には、しっかり心がけていただきたい。そのことを申し上げまして、質疑といたします。ありがとうございました。</p>	<p>(施設課長) 施設改修についてでございますが、この度の再編は、小樽工業高校の校舎を活用して工業高校と商業高校を統合し、さらに、単位制を導入することとしたものであり、改修に当たりましては、生徒の学習活動が円滑に進められるよう、必要な施設設備などにつきまして、両校の校長、事務長と協議を行ってきたところでございます。 このため、工業科の実習室をマーケティングや商品開発などの実習室に改修しますとともに、学科や学年単位の特別活動などで活用するための80人規模の講義室を整備することとしており、平成31年度からの選択教科の本格実施に向け、30年度中に工事を完了することとし、現在、実施設計を行っているところでございます。 また、女子生徒の入学人数の増加に対応するため、今年度から来年度にかけて、女子生徒用トイレを増設することとしております。</p>	<p>施設課</p>